



SHOPTOOLS

MASUDA KIRIBAKOTEN
NEXT BOXes PROJCT



増田桐箱店
MASUDA KIRIBAKO
since 1929



増田桐箱店の新ブランド「SHOP TOOLS」

これまでのパッケージとしての桐箱や、内容物の保管箱としての桐箱の製造を 100 年足らず続けてきました。

内容物の収まりや、保管に対する木材の持つ特性を考え、モノのための箱づくりに特化した増田桐箱店が、解釈を店舗の什器やホテルや飲食店の備品にまで拡大し、空間と商品やサービスとおもてなしの心を納める新しい箱の形をご提案します。

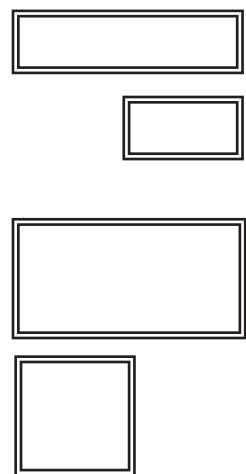
仕舞う箱ではなく、魅せる箱。それがSHOPTOOLSのコンセプトです。並べた時、重ねた時、持ち上げた時、立てた時、どんな組み合わせでも不思議としっくりくる独特の寸法ルールで製造されています。商品を良く見せるための斜めに加工された展示トレーや、重ねたり、並べたりするときに圧迫感を生まない小口の加工がしてある展示台など、どれも複数個あることで空間に個性を出し、でも主張しすぎない。在庫を美しく保管し、取り出すときもスムーズ。永く使えるように見えない強度強化の技術を取り入れて。今ある増田桐箱店のものづくりを進化させました。



MASUDA NO KUMIBAKO 2

増田の組箱は、たくさん重ねて、広げる自由な店舗什器としてデザインされました。シンプルなスクエア状の箱ですが、その使いやすさや強度面などを見直し、軽量かつ防虫・防カビ性を活かした新たなデザインとして生まれ変わりました。

ポイントは、連続すると圧迫感を生む小口に対し内側へテーパークットを入れています。その細工を片面だけにすることで、壁への接触配置や箱同士の背合わせ配置において段差を生むことなく商品を陳列することが可能です。また、箱の奥行と幅を同一にすることで、島什器やエンド什器としても配置ができます。



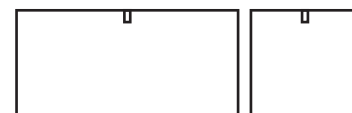
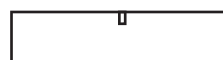
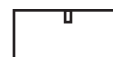


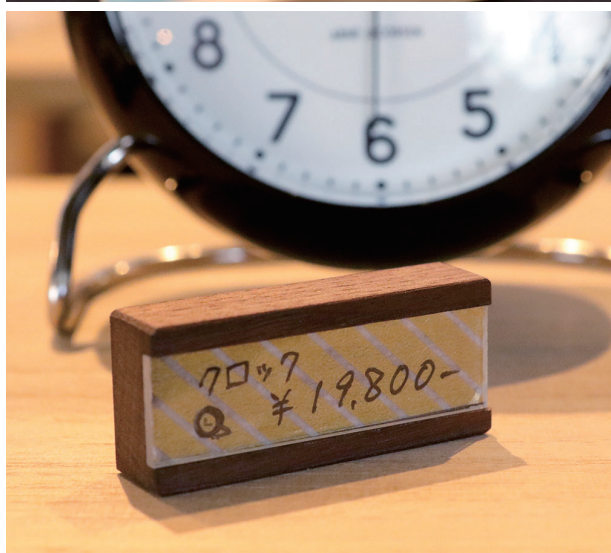
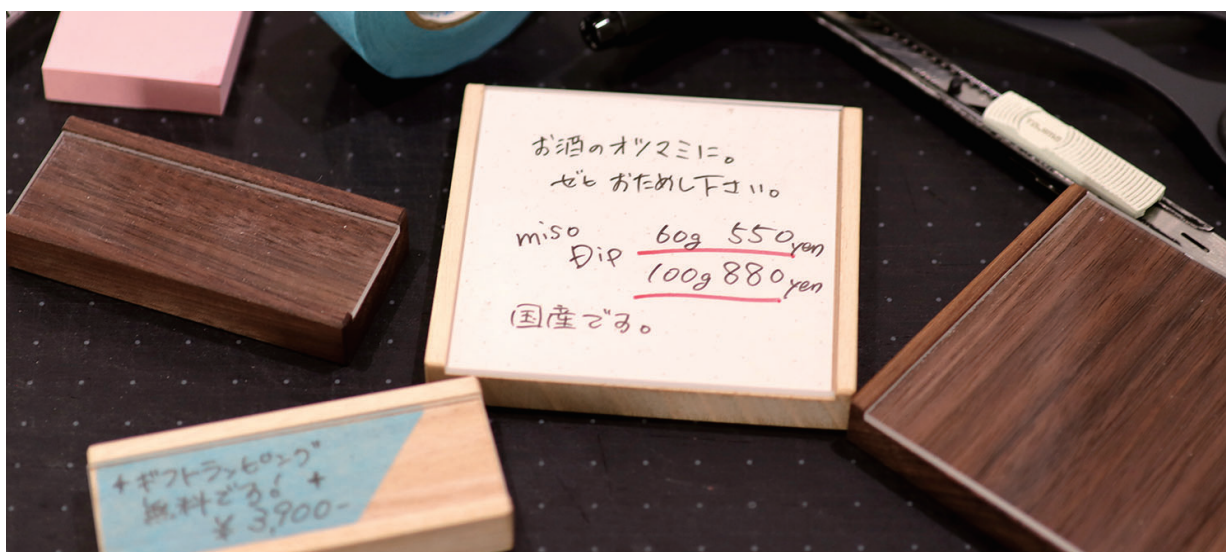
MARCHE BOX

増田の組箱 2 に引き出しとして納めることができる寸法で開発されたマルシェボックス。箱同士をスタッキングして運搬に利用したり、並べてフリーワゴンの代わりにしたりと、使い勝手の良い箱です。

桐製ですので、軽量ということや防虫性が高いこともあり屋外イベントの什器としても活躍します。

またボックス開口部を正面に向けることで棚の様に使用することもできます。開口部や重ね方をアレンジすることで、店舗の什器や収納、ストッカーから運搬箱など、様々な使い方ができるマルチボックスです。





TACK 75



TACK 25



TACK 15



CARD

TACK Plate & CARD Plate

マスキングテープや付箋、名刺などのカードなど身の回りの事務用品のサイズを基準とした新しいプライスタグとPOP用の簡易額です。

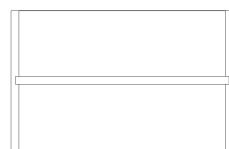
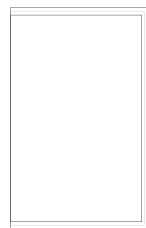
店舗商品への値付けやPOP製作は運営スタッフの負担も大きな業務です。そこで、気軽にカラフルなマスキングテープや付箋を取り入れたシンプルだけど落ち着きと温もりがある独特な雰囲気を持つプレートを製作しました。



FREE RACK

時には展示台、時には棚、時には椅子、時には台脚と、様々な用途に使えるちょっと変わったアレンジラックです。

デザインは小口の増田の組箱 2 と同じく小口に加工がされてるものと、シンプルな断面のものがあり、使用目的に合わせて使い分けることができます。





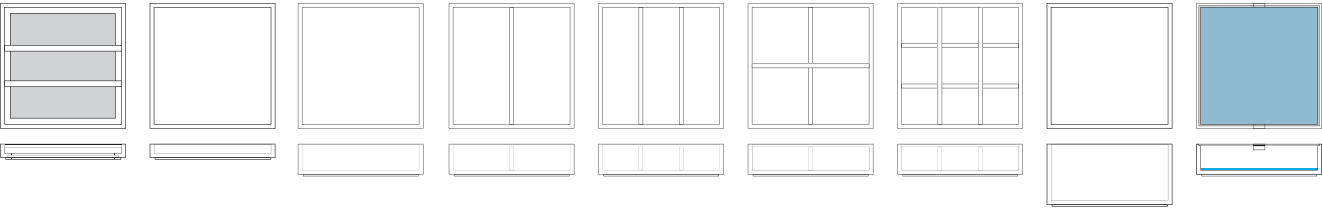
CASE

重ねる、並べる、まとめる、分別する、
保管する、展示する、蓋をする。

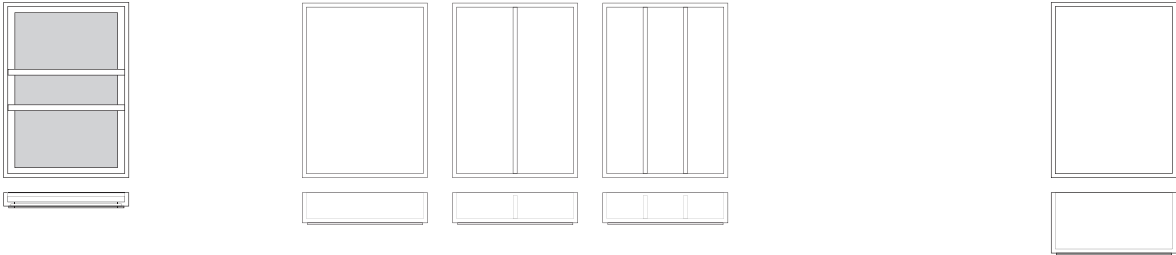
店舗の中のいろんな背景から、たくさん
の商品から、中身の姿から、説明しやす
さから、売りやすさから、使いやすさから。

100 年中身と向き合った桐箱店の大きさを、
状況に合わせてレイアウトの基本箱に。

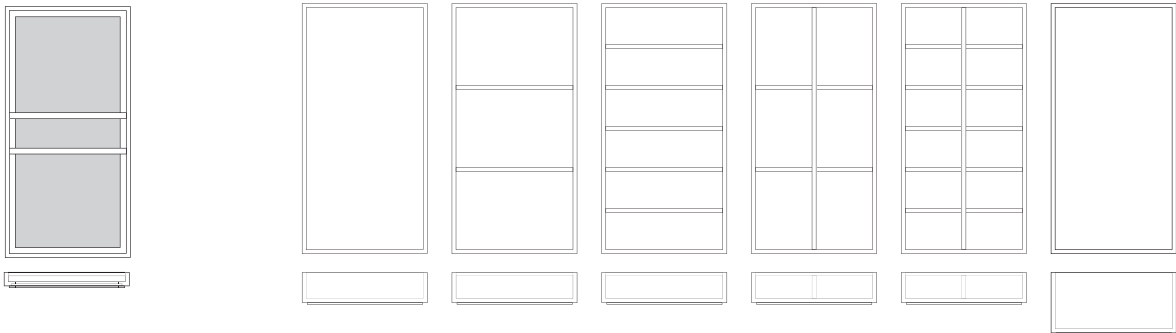
DISPLAY
215



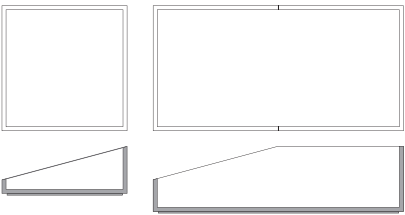
DISPLAY
300



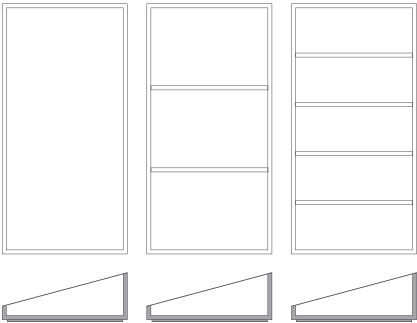
DISPLAY
430



SLASH
215



SLASH
430





TOOL MASU

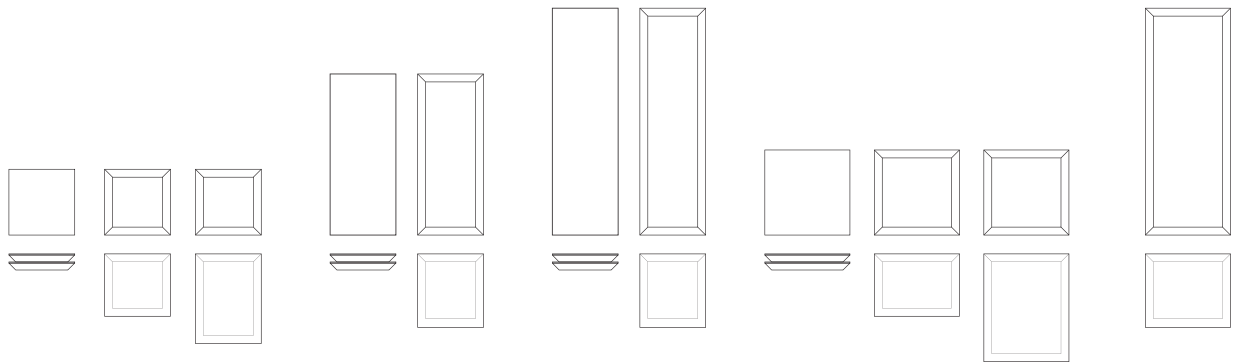


サービスや道具たちの大きさを
基準に生まれた箱のシリーズ。

伝統の枡が秤であったように、
道具の枡になれるように。

一合枡を基準に道具を使いやす
く保管できるピッタリくる箱たち。

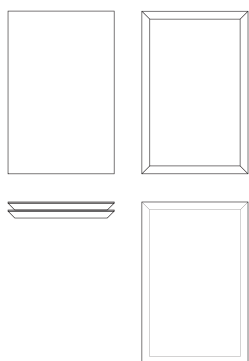
AMENITIES



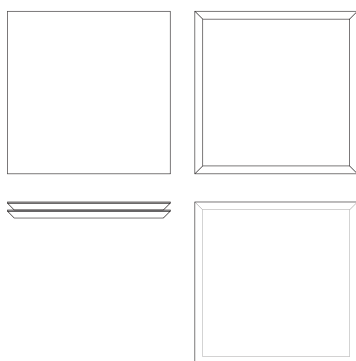
ホテルやサロンに置くシーンを想定してデザインされたシンプルな小さな箱のシリーズ
並べるとその細かいサイズの重なりが美しく、すっきりとまとまることに気がつく。

なんかちょうど良くて、なんか素敵で、雑じゃない。

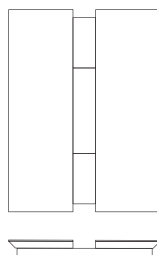




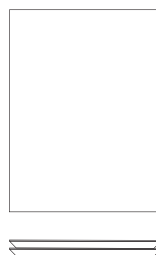
SANITARY



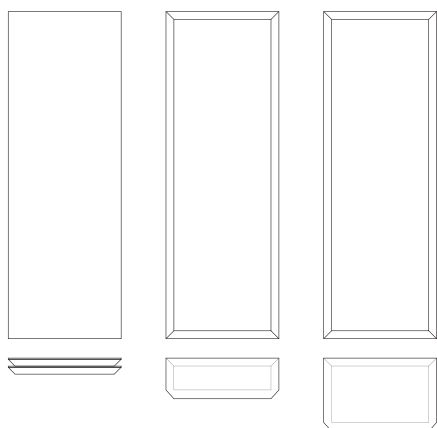
TOILET



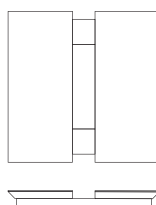
TISSUE
mini



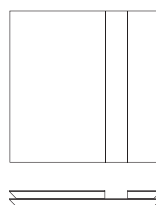
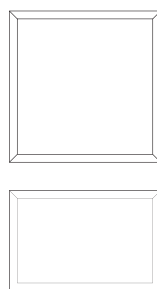
SHEET



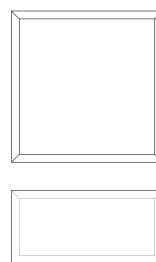
CUTLERY



TISSUE
half



MEMO





SHOP TOOLS

MASUDA KIRIBAKOTEN
NEXT BOXes PROJRCT



SHOP TOOLSは、
福岡のデザイナーである小嶋健一と創り出された新しい整いのブランドです。

パッケージや保存・保管目的の桐箱づくりから、道具としての桐箱を経て、
空間にある中身や行動のための新しい箱づくりの形です。

kirihacoPROJECTから生まれた桐箱とも互換性があるため、
様々な組み合わせを生み出すことができます。

増田桐箱店は、桐以外にも様々な木種においても箱づくりを挑戦しています。
そして、印字する技術も、書や箔押しだけでなく、レーザー加工機などの最新技術を取り入れ依頼主の表
現に答えられる準備を整えています。

職人の手仕事から生まれる桐箱は、皆様のご要望も詰めて大切に作られています。

機械やAIなどの技術だけでは到達できない箱づくりを育てています。

これからも中身とつくり手と共に成長する増田桐箱店を
よろしくお願いいたします。